

おばあちゃんの原宿巣鴨で活弁と着ぐるみのパフォーマンス

～ リズミカルなダンスにお年よりも 投げキッス！ ～

本日、とげぬき地蔵の縁日ににぎわう巣鴨信用金庫の無料休憩所で、活弁映画監督と着ぐるみユニットによるパフォーマンスが行なわれ、一息入りに訪れた来場者から「可愛いわね」と歓声や盛んな拍手を浴びていた。

おばあちゃんの原宿として有名な巣鴨は、とげぬき地蔵の縁日にあたる毎月 4 のつく日には、いつにも増して参詣者が多い。地蔵通り商店街の入り口に建つ、巣鴨信用金庫本店（巣鴨 2-10-2 田村和久 理事長）では、縁日の日に 3 階ホールを無料の休憩所「おもてなし処」として開放し、お茶と煎餅でおもてなしをしている。

街の活性化を目的にした本日の企画は、にしすがも創造舎の camo-cafe(カモ・カフェ 注釈)の出前カフェプロジェクトとして、巣鴨信用金庫と連携した初めてのイベント。

活弁映画監督山田広野さんの語りで、着ぐるみを着てダンスを踊るユニット“しでかすおともたち(代表小林由佳さん)”の 3 匹+1 名がパフォーマンスを繰り広げた。

日 時	12 月 4 日（木曜日）正午から 12 時 30 分、午後 2 時～2 時 30 分	
場 所	巣鴨信用金庫本店（巣鴨 2-10-2）	
主 催	NPO 法人アートネットワーク・ジャパン、巣鴨信用金庫	
当日の様子 参加者の声 など	<p>300 席の会場はほぼ満員。縁日には約 3000 人が休憩や食事のために訪れるという。16 年間続けている無料休憩場には、参詣の行き帰りの高齢者が多く立ち寄る。元々巣鴨町役場の庁舎があり、その中に巣鴨信用金庫があった。地域との結びつきは永くそして強い。</p> <p>山田広野さんの活弁で、この日のために撮った「しでかす巣鴨地蔵通へ行く」他 1 作の活弁映画の上映の後、来場者は、大きな着ぐるみと一緒に、ダンスパフォーマンスを楽しんだ。座ったままできる、ウェーブやモンキーダンスなどを盛り込んだダンスのレクチャーは、お年より向けに「波・投げキッス・拍手」と優しく日本語で説明し、来場者は楽しそうに参加していた。</p> <p>毎月縁日に来るといふ、高齢者の女性二人（北区王子在住）は「体がほぐれたわ〜」「なんだか少し動いただけなのに肩が軽くなったみたい」と笑顔で語ってくれた。</p>	
注 釈	<p>* 区と NPO 法人アートネットワーク・ジャパンが協働運営する文化拠点「にしすがも創造舎（旧朝日中学校）」の昇降口に今年オープンした camo-cafe では、今後ワークショップやイベントを開催し、出前カフェとして地域の拠点へ積極的に出ていく予定。今回の企画はその第 1 弾であり、内閣府が実施する「官民パートナーシップ確立のための支援事業」を活用し、展開するアートプログラム。来年 2 月 4 日にもイベントを開催する。</p>	
写 真 * 写真はメ ールで送り ます	<p>本日撮りおろし「しでかす巣鴨へ行く」</p> 	<p>本日の出演者を紹介</p> 
問 合 せ	文化デザイン課	